

厚生文教常任委員会 視察研修報告

視察日

平成 25 年 11 月 25 日～26 日

視察先

・福島県安達郡大玉村教育委員会
・埼玉県比企郡ときがわ町役場

視察目的

・「大玉村学校支援地域本部」での地域の人材を生かした学校支援活動の状況について

・「ときがわ町における健康づくり開発事業」でのスモールチェンジ・キャンペーンの取り組み状況について

視察内容

大玉村学校支援地域本部事業は大玉村の公立学校・幼稚園の学校教育に地域住民がボランティアとして支援すること、教員が児童・生徒等と向き合う時間を確保し、教育効果の向上を図る。



大玉村農村環境改善センターにて

また、地域住民の学習成果の活用機会の拡充と地域教育力の向上・活性化を図ることを目的に立ち上げられた事業で、大玉村地域教育協議会が実施機関となり、事業運営は大玉村教育委員会生涯学習課、コーディネーター、そして学校支援ボランティア登録者が行っている。支援内容は学習支援・環境整備・部活動支援・安全パトロール・学校行事支援・保育活動補助・本の読み聞かせなど多岐に渡る支援を行っている。成果として子ども

もたちが地域とのかかわりを意識するようになった。いろいろな体験や経験が増加した。学校としては地域との連携が深まった等の変化が見受けられた、との説明を受けた。

翌日はときがわ町における「健康づくり開発事業」スモールチェンジキャンペーンについて研修を行った。スモールチェンジ活動とは「わずかなことから始めよう」を

合言葉に簡単に実践できる健康行動を継続することで、生活習慣病を予防し、健康的な生活を維持し、医療費削減を図るものである。具体的なスモールチェンジ活動とは、例えば歩くときはいつもより大股で、早食いせずよく噛んで食べる、甘いお菓子の代わりに野菜や果物を、塩分の代わりに香辛料や薬味等を、まずは目の前で実践できることに着目した活動である。しかし無関心層も多く、実践行動の広がりにもうひと押しが必要と考

え、今年度からスモールチェンジポイントキャンペーンを展開した。具体的には町有施設や協賛店から特典サービスを受けたり、健康診査や健康づくり事業、ボランティア活動等に参加し、集めたポイントで景品がもらえる等楽しみながら健康づくりに取り組めるような事業であった。

本村でも平成 26 年度から行う「美浦村教育振興基本計画」が示され、その中に学校支援地域本部を組織化し、学校支援と地域支援を本格化すると計画されている。健康に関して「第 2 次美浦村健康づくり計画」にウォーキングの推進、運動習慣の確立支援、シルバリーハビリ体操の普及、乳幼児から高齢者までの食育等が示されているが、計画で終わらぬよう、行政の役割を確実に進めることが重要だと感じた。